

スポーツ推進委員だより

「障がい者とスポーツ」について



海老名市スポーツ推進委員協議会
会長 齊藤 賞一

障がい者が行うスポーツと健常者が行うスポーツの違いは何か？と問われると私は、ルールと方法が違うだけでスポーツとしては全く同じだと答えるでしょう。

それは、障がい者と健常者それぞれに相応しいルールがあり指導者がいるからです。スポーツの効果は、健康、体力、明朗、闊達、連帯、親善等であり、障がい者の社会参加を促す上で絶好のチャンスだと思います。

障がい者のスポーツには、次の工夫が必要で、道具（用具）、ルール、やり方の3つです。

新しい競技でなくても工夫の仕方、新種目としてできるのです。

すなわち、特別なルールが必要となります。その特別なルールとは、競技は基本的には障がいのない人と同じルールで行われませんが、障がいによつてはどうしてもできなかったり、安全上問題があるために設けられるもので、車椅子のルールや、全盲の人の介助の仕方などを指しています。従つてこの特別なルールは、その競技を安全で楽しくするために考案されるものであります。

もちろん、障がいの受容程度に応じたルールも支援も必要となります。このような障がい者・健常者の区別なく、すべての人々のスポーツの交流には、優れた指導者が求められています。この指導者がいる限り、障がい者と健常者が同じステージで、競技することが可能であり、それがパラスポーツであると思います。

カラーリングや玉入れもスポーツ推進委員が推進役となり、障がい者スポーツフェスティバルなどの場で、楽しんでもらっています。

逆に、車椅子サッカーやボッチャという競技は、健常者のみのチームや障がい者との混合チームによる競技が行われ、障がいの有無を超えた交流として活かされていると思います。

障がい者のスポーツ交流に求められることは、医学的な側面は元より障がいについての理解と、その症状に合わせた指導力です。

障がい者が親しんでいるスポーツは、障がいのために出来ないことや安全上問題があるためにルールを変えるだけで子どもや高齢者のスポーツ普及にも通じるものです。スポーツ推進委員のこれからの役割は、ハンディキャップをいち早く把握し、安全で楽しめる競技導入の推進役を果たしていきたいと思えます。

第24号

■発行日 平成29年3月1日
■発行 海老名市スポーツ推進委員協議会
■事務局 文化スポーツ課
■電話 046-235-4927(直通)



第57回全国スポーツ推進委員研究協議会(福井大会)に参加して



海老名市スポーツ推進委員協議会
副会長 山崎 圭三

昨年、11月17日から18日の2日間にわたり、福井県で開催された全国スポーツ推進委員研究協議会に参加を致しました。初日は『スポーツに学ぶコミュニケーション』と題された基調講演が行われ、「ペップトーク」と言われる、スポーツ以外の様々な場面においても活用が出来る、シンプルでポジティブな言葉を使った会話術について、学ぶ事が出来ました。翌日には、障がい者スポーツに関する分科会において、事例報告やディスカッションに参加しました。

海老名市では、この全国大会が行われた数日後に、第3回目となる、障がい者スポーツフェスティバルが開かれましたが、障がい者のスポーツ参加への取り組みは、まだまだ、始まったばかりともいえません。

私達は、健常者のスポーツばかりではなく、障がいの有る方々がスポーツを楽しみたいと環境作りを、行政と共に進めていきたいと考えています。

平成28年度活動事業名	開催日	会場
えびな市民ウォーク	5月15日(日)	海老名中央公園ほか
海老名市スポーツ推進委員研修会	6月11日(土)	海老名運動公園総合体育館
えびな市民まつり	7月24日(日)	海老名運動公園
海老名市スポーツ・レクリエーションフェスティバル えびな玉入れ選手権大会	10月10日(月・祝)	海老名運動公園総合体育館
県央ブロック研修会	10月15日(土)	厚木市當東町スポーツセンター
えびな健康マラソン大会	10月23日(日)	海老名市役所ほか
神奈川県スポーツ推進委員研修会	11月23日(水・祝)	綾瀬市民スポーツセンター
海老名市駅伝競走大会 えびなっ子駅伝	1月15日(日)	海老名運動公園陸上競技場ほか
かながわ駅伝競走大会	2月12日(日)	神奈川県内
ニュースポーツ大会	2月19日(日)	海老名運動公園総合体育館
新入学児童運動能力測定	3月5日(日)	海老名運動公園総合体育館
平成28年度派遣事業名	開催日	会場
かわつ子サマースクール	7月25日(月)	柏ヶ谷小学校
東柏小ふれあい交流	10月15日(土)	東柏ヶ谷小学校
柏小まつり	10月22日(土)	柏ヶ谷小学校
障がい者スポーツフェスティバル	11月20日(日)	海老名運動公園総合体育館
大谷社会福祉協議会 「みんなのひろば」玉入れ大会	11月27日(日)	大谷コミュニティセンター
大谷中学校区育健連玉入れ大会	2月26日(日)	杉久保小学校

派遣事業

柏小まつり

派遣事業として地域の活動をサポートしていきたいと考えています。
自治会、子供会などの事業にスポーツを取り入れてみてはいかがでしょうか！
今年は柏小まつりにてドッチビーを行いました。
2コートに低学年と高学年で分かれて試合をしました。力が入りすぎてディスクが飛びすぎてしまう場面もありました。

障がい者スポーツフェスティバル

173名の参加がありました。



(玉入れ体験の様子)

活動記録

2016年えびな市民まつり (ニュースポーツランド)

今年のニュースポーツランドは、子供向けのアトラクションを設けたギズランドと共に体育館で実施しました。ニュースポーツの紹介、体験としてショートテニス、ドッチビー、ラダーゲッター、大縄跳び、バンブーダンス、パラシュートを行い、多くの市民の皆様楽しんでいただきました。



第18回海老名市スポーツ・レクリエーションフェスティバル 第11回えびな玉入れ選手権大会

毎年恒例になりましたスポーツ・レクリエーションフェスティバルの一環として玉入れ大会が10月10日海老名運動公園において、参加119チームでファミリー・ジュニア・シニア・レディース・一般の5部門に分かれ熱戦が行われました。なお、フェスティバル全体の参加者は6,672名でした。選手の皆様お疲れ様でした。



第11回えびな健康マラソン大会及び第46回海老名市駅伝競走大会について ~実行委員として~

海老名市スポーツ推進委員協議会

副会長 加藤 悟



県央地区に位置する海老名市は自然環境に恵まれた素晴らしいところです。副会長 加藤 悟
その中で1月に市駅伝大会、10月にはえびな健康マラソン大会が毎年開催されます。これらの事業は市のイベントと思っています。
市駅伝は46回目となる伝統ある大会で6人が1本のタスキを繋ぎ合ってゴールするという厳しいレースですが、会場にはチームメイトが大勢駆けつけ声援が飛び盛り上がる大会です。
えびな健康マラソンは、市民である私達が気軽に参加出来る大会です。参加されるランナーの皆様は一気に駆け抜けゴールするのもいいですが、周りの景色を楽しみながらマイペースでゴールするのも楽しみ方のひとつです。そんなランナーの皆様楽しく安全に走ってもらえるように会場作りするのが私たち実行委員の役目だと思えます。

第15回えびな市民ウォーク

海老名中央公園をスタート・ゴールとする3コース(健脚コース・ファミリーコース・史跡コース)に約1,000名の参加者がありました。
当日は天候に恵まれ、五月晴れの下、各自マイペースで歩き海老名の自然を感じながら、事故も無く全員が完歩いたしました。



事業名	部門	優勝タイム
第11回えびな玉入れ選手権大会	ファミリー	20.5秒
	ジュニア	27.9秒
	シニア	39.5秒(2回合計)
	レディース	17.2秒
第11回えびな健康マラソン大会	一般	21.5秒
	6km(男子)	19分51秒
	6km(女子)	26分17秒
	3km(男子)	10分12秒
	3km(女子)	12分34秒
	2km(男子)	7分24秒
	2km(女子)	8分25秒
第46回海老名市駅伝競走大会 (全6区・18.14km)	1km(親子・男子)	3分40秒
	1km(親子・女子)	3分50秒
	自治会対抗	1時間3分13秒
	一般対抗	1時間1分39秒
第6回えびなっ子駅伝(全5区・2km)	中学生対抗	1時間9分26秒
	小学生	6分18秒

相原政春

平成19年よりスポーツ推進委員をやらせて頂いてから早いもので10年の月日が過ぎようとしています。先輩スポーツ推進委員のご指導のおかげで続けて来られたと思っております。海老名市のスポーツの推進のために少しでも役に立てる事が出来たとしたら光栄です。

前場啓子

本来、運動音痴な私ですが、スポーツ推進委員として10年間活動できたのは、会長をはじめ、関係者皆様のおかげと感謝しております。これからも、スポーツ推進事業に参加して下さる選手の真剣な眼差しや、その勇姿を見守る仲間達を応援し続けていきたいです。

10年を振り返って

～10年表彰を受賞して～



平成29年2月4日(土)に横浜市で開催された「神奈川県スポーツ推進委員大会」にてこれまでの功績が認められ功労者表彰を受賞しました。

打野公一

スポーツ推進委員に任用して頂いて10年になります。文化スポーツ課のみなさんをはじめ、同じ委員の仲間等、多くの方々に支えられて、ここまで続けてこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。スポーツを通して、市民のみなさんの元気、笑顔を見られるのが何より楽しいです。今後どうぞよろしくお願い致します。

田崎庄平

スポーツ推進委員に任命されて10年、任命された当時は体育指導委員でした。えびな市民ウォークから始まり、ニュースポーツ大会まで、毎年参加人数が多く、市民のスポーツに対する関心が高まっていると思います。私は、この10年間、海老名市スポーツ推進委員として市民の皆さん、スポーツ推進委員の皆さんと多くの活動に私自身も楽しみながら参加させていただきました。

熊谷徳子

早いものです。委員として10年。えび玉・カローリング等多くの行事を通してたくさんの方々と交流が出来、私自身の健康づくりにも繋がり委員として活動できたこと感謝しております。これからも多くの方々と共に安全に楽しくスポーツを続けていけたらと思っています。



私たちスポーツ推進委員は、誰でも気楽に参加できるニュースポーツの普及に取り組んでいます。特に地域での活動を通して、体を動かす楽しさや人との触れ合いを大切にしています。さらに体験を通して、健康で充実したひと時を過ごせるよう努力したいと思っております。
(H.H)

編集後記

- ◆ 会長 齊藤 賞一
- ◆ 副会長 山崎 圭三
- ◆ 加藤 悟
- ◆ 書記 加藤 智恵子
- ◆ 会計 前場 啓子
- ◆ 監査 相原 政春
- ◆ 事業部長 小林 文記
- ◆ 研修部長 新戸 信之
- ◆ 広報部長 林 裕行

役員紹介